

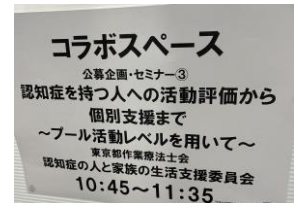
認知症に関する活動計画（概要）

東京都作業療法士会では、認知症の人と家族の生活支援委員会を組織し、東京都民や作業療法士に対して、認知症における作業療法の普及啓発活動を実施している。主な活動内容としては、研修会の企画・運営、広報活動、認知症に関わる作業療法士の育成事業等を実施している。

1. 研修等事業
 - ①東京都作業療法学会内セミナー
 - ②その他
2. 普及啓発事業
 - ①機関誌への執筆
 - ②都民向けブログの運営
 - ③東京新聞ヘルスケアメイツ事業への協力
3. 育成事業
 - ①認知症アップデート研修

東京都作業療法学会内セミナー

7月2日（日）に第19回東京都作業療法学会に参加した。当日は、「認知症を持つ人への活動評価から個別支援まで」と題して、作業療法のツールであるプール活動レベル評価のセミナーを開催しました。



東京新聞ヘルスケアメイツ事業

5月21日（日）に、東京新聞とのコラボ企画である東京新聞ヘルスケアメイツを開催した。この事業では、介護予防プログラムを運営できる地域住民を育成することを目的として参画しています。今年度は、新聞回想法のファシリテーターを育成を目指し、4回の開催を予定しています。



都民向けブログ

都民へ向けての普及啓発活動として、ブログの運営を行なっています。ブログは、委員が持ち回りで執筆し、認知症に関する情報を専門職でない方に向けて発信しています。



COVID-19の影響・対応など

COVID-19への対応としては、昨年から引き続き、委員会における会議はオンライン会議システムを利用して実施している。

しかし、事業当日は感染対策のもと現地にて開催している。今後も、世間の動向を確認しながら、慎重に判断していく予定である。